



ぎのうじっしゅうせいかつ かなら やくだ
技能実習生活に必ず役立つにほんご Part 4

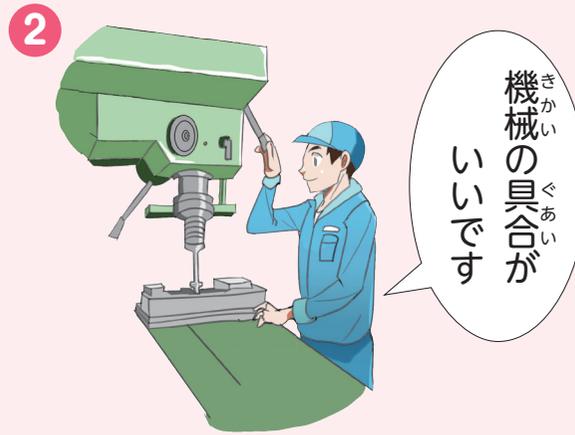
だい 第5回 ぐあい

こうえきしゃだんほうしん こくさいにほんごふきゅうきょうかい
公益社団法人 国際日本語普及協会 武田 由美
イラスト：リオ輔



1 寒くなりましたね。風邪などひいていませんか。みなさんは、朝、起きて熱があったり、頭が痛かったりして仕事を休むとき、何と言いますか。会社の人に「熱があるので、休みます」とか「頭が痛いので、休みます」と連絡します。病気じゃないかもしれませんが、元気じゃないときもあります。そのときは、「具合が悪いので、休みます」と言います。「具合が悪い」は、熱があるときも頭が痛いときも、それから、おなか痛いときなど、元気じゃないときに使うことができます。

病気のひとに「元気になりましたか？ どうですか？」と聞きたいときは、「具合は、どうですか」と聞きます。



2 それから、工場の機械や車のエンジンにも「具合」を使うことができます。機械やエンジンがよく動いているとき、「今日は、機械の具合がいいです」「エンジンの具合がいいです」のように言います。いつもと同じように機械が正しく動いていて、失敗がないときは、「具合がいいです」ですが、機械が止まったり、いつもと違う変な動きになったりしているときは、「今日は、機械の具合が悪いです」と言います。職場の人に機械やエンジンがよく動いているかどうか確認したいときも、「機械の具合はどうですか」と聞くことができます。体のときと同じです。



3 仕事の説明を聞いています。職場の人が作業をおし教えるとき、「こんな具合にします」と言います。このときの「具合」は、「やり方」です。説明しているひとと同じようにしてください。作業の順番や機械の使い方を説明するときに、作業をしながら、「こんな具合にします」と言います。「この順番でいいですか」と聞くときも、「こんな具合でいいですか」と言うことができます。

「こんな具合に部品を入れます」「こんな具合にひもを結びます」「こんな具合に卵を箱に詰めます」など、やり方を見せて、説明するときに使うことができます。作業を見ているので、やり方がよくわかりますね。